

福光中部小だより

令和7年2月25日

No.535

南砺市立福光中部小学校

E-mail fukumitsuchubu-es@tym.ed.jp



ホームページ

「挑戦」を合言葉に、がんばった中部っ子の振り返り

教務主任 佐々木 暁

今年度の三つのアクションプランの柱の土台となる重点目標「挑戦」の質問項目に対して、**93% (2学期末)**の子供が肯定的な回答をしました。4月当初より、「挑戦～みんなが笑顔～」という重点目標は、全学年の子供たちにとっては、合言葉のように浸透していました。この結果が示すとおり、学習発表会や持久走大会等の行事をはじめ、様々な場面で子供たちが挑戦する姿がありました。

以下の図は、本校が目指す子供像に向けての目標と**達成率**です。

<今年度の重点目標> 挑戦 ～みんなが笑顔～

①相手の気持ちを考えた言葉
かけができる子供
目標達成率：80%以上
→**達成率：82.3%**

②自ら学び、進んで
表現する子供
目標達成率：80%以上
→**達成率：86.5%**

③安全に楽しく運動に
取り組む子供
目標達成率：80%以上
→**達成率：94.1%**

また、その他の質問項目についても結果を示します。

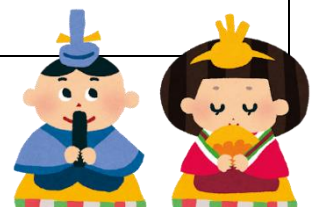
- ・自分で食べられる量や体の調子を考えて、給食を食べることができた。**85%**
- ・学級の時間や係の時間に、学級の問題を見付けて友達と話し合うことができた。**81%**
- ・タブレット端末を使って効果的に学習することができた。**92%**
- ・福光地域や南砺市のことが好きですか。**92%**

これらの結果は、学校全体での平均値です。そのことを肝に銘じ、学年・学級単位、更には子供一人一人が各項目をどのように振り返っているのかを大切にしなければなりません。そして、一人一人の子供にとってよりよい手立てが他にないかを考察し、実践していく必要があります。今年度は、残り1か月余りとなりましたが、この重点目標とアクションプランを最後まで意識し、子供たち自身が自分の目標に向かって、可能性を最大限に引き出せるよう、「チーム福光中部」が一丸となって支えていきたいと思えます。引き続き、保護者や地域の皆様の温かいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

3月の行事予定



3月2日(日)	PTA 親子で通学路を歩こう PR ミーティング	24日(月)	修了式
6日(木)	クラブ活動	25日(火)	学年末休業(~4/7)
13日(木)	卒業式予行 西能スポーツ賞・授賞式	未定	退任式・離任式
17日(月)	卒業証書授与式		





主体性をもって学ぶ中部っ子を目指して～自啓教育を核として～



研究主任 高野 一穂

本校では創校以来受け継がれてきた「自啓教育」に取り組んでいます。自啓教育の目標は、「自ら学ぶ力の育成」です。子供たちが互に関わり合い、進んで学ぶには聴く力が必要だと考え、全ての学級の朝の会で「聴き合いタイム」を行っています。特に相手を尊重し、話し手の心に寄り添って共感的に聴くことを大切にしています。

今年度の5年生は、総合的な学習の時間に大きなプラスチックの箱を用いた米作りに挑戦しました。自啓教育研究発表会では、収穫までの活動を振り返り、友達の思いを聴き合いました。

初めは米作りが大変そうで戸惑っていたHさんでしたが、同じグループの友達と台風や害虫への対策、農薬の必要性、水

やり等について話し合いながら協力し、何とか収穫までたどり着くことができました。研究発表会当日の聴き合いで、Hさんは、「やりきった気持ち。グループの皆で協力して、虫害や水害の対策をしっかりと米を収穫できた。米を育てることは、生き物を育てるという感覚になっている。」と発言しました。初めは意欲的に取り組むことができなかつたHさんが、米を大切に思うようになり、まるで生きもののように感じたことを堂々と語る姿に感動しました。Hさんの話を聴いた子供たちも、自分が経験した大変だったこと、感動したこと、これからの生き方に役立てていきたいこと等を思い起こし、次々に自分の思いを話す姿につながりました。

今後も主体性をもって進んで学ぶ中部っ子を目指し、更なる授業改善に取り組んでいきたいと思ひます。



〈学習活動を通して感じたことを聴き合う様子〉

福祉の心を大切に



〈車いす体験の様子〉

ボランティア委員会は今年度から新設した委員会です。最初は委員の子供たちが何のために活動するのかとまどう場面も見られましたが、福祉体験会の実施や募金の呼びかけ等、誰かのために行動する経験を重ねたことで、どんどん積極的に活動するように成長しました。

二学期には、「ふく満デイサービスセンター」を訪問して地域の方と関わり、地域とのつながりを深く感じる事ができました。今後も地域社会の一員として、福祉の心を大切にするよう見守っていききたいと思ひます。

ボランティア担当



〈募金活動の様子〉

～教育講演会“Oh,no 脳!”～



大切な脳
みんなで守り
育てていきましょう

講師
臨床心理士・公認心理師
大浦 暢子 先生

2月14日(金)に、4～6年生の児童と保護者を対象にした教育講演会を行いました。ネットやゲームの使用が脳に与える影響について学びました。これからのメディアとの関わり方について、今後家族で考える機会になれば幸いです